

最終報告の構成について（案）

1 被害想定概要

- 概要をコンパクトに記載

2 想定対象とする地震動等

- これまでの地震部会資料等を基に作成

3 想定される被害

- | | | | | |
|----------------------------------|---|--------------------------------|---|--------------------------------|
| (1) 建物被害 | } | 中間報告に記載 | } | 本市の都市特性等を考慮しつ
つ、内閣府手法を基本に想定 |
| (2) 人的被害 | | | | |
| (3) 避難者 | | | | |
| (4) ライフライン被害
上水道、下水道、電力、通信、ガス | } | 本市の都市特性等を考慮しつ
つ、内閣府手法を基本に想定 | | |
| (5) 交通施設被害（橋梁など） | | | | |
| (6) 文化財被害 | | | | |

4 発災後の時系列シナリオ

- 第3次被害想定シナリオを見直し、本市が直接被害を受ける内陸型地震と、周辺地域の被害に伴う間接被害が大きい南海トラフ地震の2シナリオを作成
- より具体的に想定される被害の状況を市民にイメージいただけるよう、身の回りでの被害の様相も含めコンパクトに作成（発災1か月程度までを中心）
- 応急対策活動の展開、避難所での避難生活、ライフラインの復旧に向けた動きなどの各場面に着目し記述（上記3以外に、災害廃棄物等の定量的記述も検討）

5 被害想定手法

- これまでの地震部会資料等を基に作成

6 防災・減災対策による被害軽減効果の推計

- この間の防災・減災対策の効果の検証
- 今後の対策進捗に伴う効果予測

参考 過去の主な地震被害、用語集、検討経過、参考文献

今後のスケジュール（予定）

令和5年2月頃 第4回地震部会（最終報告書案の取りまとめ）

3月頃 京都市防災会議（最終報告書を報告）